

Press Release

2018年5月28日

伊賀イノベーションデー2018 大盛況のうちに閉会

DMG 森精機株式会社(以下、当社)は、2018年5月22日(火)から5月26日(土)の5日間、弊社伊賀事業所にて伊賀イノベーションデー2018を開催いたしました。世界最大のショールームである「伊賀グローバルソリューションセンタ」をメイン会場として、最新鋭の工作機械約50機の展示や自動化のご提案に加え、約90社のパートナー企業様の出展、コラボレーション企画や工場見学など様々なイベントを開催し、5日間で9,200人以上のお客様にご来場いただきました。みなさまのご来場、誠にありがとうございました。

今回の伊賀イノベーションデー2018では、コンパクトかつ自動化に対応するターニングセンタALXシリーズを参考出展として世界初披露、横形マシニングセンタNHXシリーズの第3世代モデルとなるNHX 4000 / 5000 3rd Generation と複合加工機NTXシリーズの第2世代モデルとなるNTX 2000 / 2500 / 3000 2nd Generation を日本初披露いたしました。

また、加工に関するご提案として、汎用機に特殊工具を搭載することで専用機を使用しない複雑加工を多数お披露目し、お客様へ幅広いソリューションをご紹介いたしました。自動化のコーナーでは、ロボットの専門知識を必要としない画期的なロボットシステム「MATRIS」や、不二越様とのオープンイノベーションで誕生した、ロボット1台に機能を集約しスペースを最小化したロボットシステム「MATRISmini」、デンソー様と共同開発した、部品搬送を安全でコンパクトに実現する工作機械用搬送ロボット「D-Carry」をお披露目いたしました。

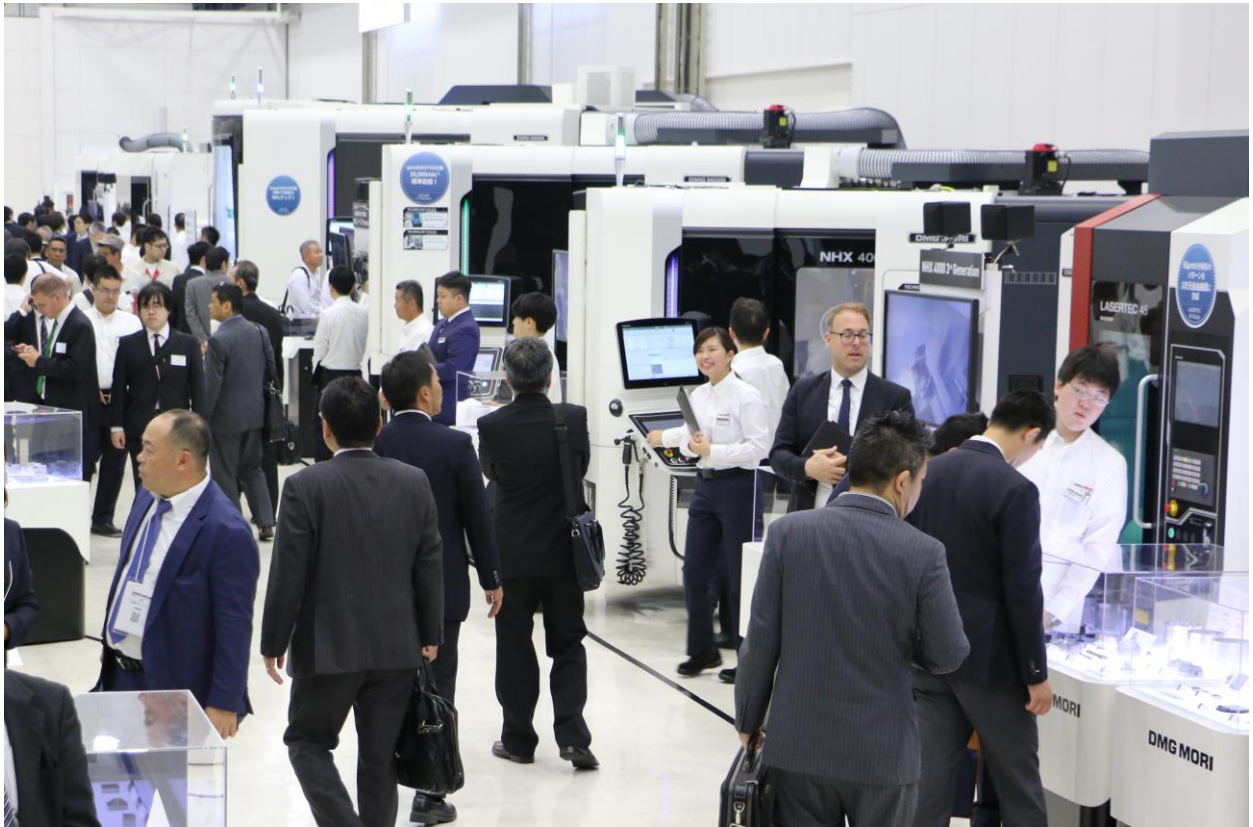
さらに、EV化の波によりもたらさせる新たな自動車部品加工についても展示を行いました。ガソリン車と電気自動車とが並存することにより深化する部品加工の2極化と多様化に対応する、当社のソリューションをご提案しました。

今回の伊賀イノベーションデーを期に開設された「金型エクセレンスセンタ」では、従来の金型加工の常識を覆す、5軸加工による新しい金型加工をご提案しました。

アフターサービスのコーナーでは、自社開発の高性能主軸「マスターシリーズ」の3年保証や、6月より提供を開始する新会社「テクニウム」のサービス内容についてご紹介いたしました。

DMG 森精機は、グループの総合力を結集して最新の技術動向にも迅速に対応し、生産性の向上や経営力の強化に役立つ製品や技術を通して、お客様とともに前進してまいります。会期中にお客様からいただきました貴重なご意見、ご感想を今後の製品開発やサービスサポートの一層の充実につなげてまいります。

以上



お客様で混雑するグローバルソリューションセンタ



5 軸加工機と自動化のご提案